

SWRブリッジ

87シリーズ

2～18GHz



87シリーズ SWRブリッジは、精密で高い方向性を持ち、SWRや反射損失の測定に適しています。終端器を内蔵し、全帯域にわたり計算式から算出できる確度を提供します。

検波する前のRF出力を増幅することにより、極低レベルのSWR測定に使用できます。反射信号の位相と振幅は、RF出力端に保たれているので、ネットワークアナライザ計測システムによる正確な位相比較にも使用できます。

- 38 dBの方向性
- 精密型GPC-7の測定端コネクタ
- 基準終端器を内蔵

規格

形名	87A50	87A50-1
周波数範囲	2～18GHz	
挿入損失	6.5dB [公称値:入力端から測定端まで、18GHzにおいて9dB(代表値)]	
方向性	35dB	38dB
確度*	0.018 ± 0.32 ρ ² (2～3GHz)	0.013 ± 0.32 ρ ² (2～3GHz)
	0.018 ± 0.23 ρ ² (3～4GHz)	0.013 ± 0.23 ρ ² (3～4GHz)
	0.018 ± 0.015 ρ ² (4～18GHz)	0.013 ± 0.015 ρ ² (4～18GHz)
最大入力電力	0.5W	
測定端コネクタ	GPC-7	
入出力コネクタ	Type N (f)	
寸法・質量	73 × 52 × 29mm (コネクタを除く)、≤ 340g	

*: ρは測定反射係数

標準エアライン

18/19シリーズ

0.5～18GHz/0.8～40GHz



18/19シリーズ 標準エアラインは、標準インピーダンスと時間遅延を備え、誤差平均測定システムやリップル抽出測定システムに使用します。18GHzまで1.006、26.5GHzまで1.01、40GHzまで1.02のSWR測定が行えます。測定端の接続反射を最小にする、ビードレスのコネクタを使用しています。もう一端は中心導体を支えるためにビードされ、ビードレス端で基準面を固定しています。

- 銀メッキの金仕上げ、実質的に無損失
- NISTにトレーサブルなインピーダンス
- 超精密なSWR測定が可能

規格

形名	周波数範囲	測定端コネクタ	ビード端コネクタ	SWR (テストポート)	内径* (mm)	長さ (cm)
18A50	0.5～18GHz	GPC-7	GPC-7	1.003	7	30
18N50 18NF50	0.5～18GHz	N (m) N (f)	GPC-7	1.006	7	30
19S50 19SF50	0.8～26.5GHz	WSMA (m) WSMA (f)	WSMA (m)	1.006 (~18GHz) 1.010 (~26.5GHz)	3.5	25

*: 外部導体の内径